

練馬区の将来像を考える区民懇談会

## 環境・まちづくり分野分科会 中間報告書

### 1. 現状における課題

#### (1) 「みどり・農地」に係る課題

- ・公有地・民有地・農地あわせて、区内のみどりの保全に向けた取組みが求められています。また、まち中の小さなみどりを増やすことが必要となっています。
- ・練馬区の農地の保全・活用に向けた取組みが求められています。
- ・区内の憩いの森などの様々なみどりを区民がより活用できる環境の整備が求められています。また、バリアフリー化の観点からの遊歩道の見直しなども必要となっています。

#### ■ 「みどり・農地」に係る課題

- \* 練馬区のみどりは民有地に依存しており、年々減少しています。
  - ・練馬区は、他区と比べても区内のみどりが多いという特徴を持っています。一方で1人あたりの公園面積は23区内17番目と必ずしも高くありません。
  - ・しかし、区内のみどりは民有地に依存しており、年々減少傾向にあることから、公有地・民有地あわせて、みどりの減少を食い止めるための取組みが必要となっています。
  - ・また、小さなみどりを増やすとともに、あわせて緑を積極的に増やしていく取組みも求められます。
- \* 練馬区の農地保全は地理的条件から難しい状況におかれています。
  - ・区内には農地が多数残されています。この農地は地産地消の都市農業としてのみならず、都市の「みどり」として重要な役割を果たすとともに、雨水の地下浸透をとおして水の自然の循環にもつながっております。
  - ・しかし、市街化への開発圧力など練馬区の地理的条件から、農地の保全は相当の奨励策が無いと難しく、今後減少していくことが予想されます。このため、農地保全に向けた取組みが求められています。
- \* 区内のみどりを十分に活用できていません。
  - ・区内には憩いの森などの区民のためのみどりがあるにもかかわらず、入り口の雰囲気が悪く入りづらかったり、樹林保全・活用のための枠組みが作られていないなど、特徴ある憩いの森を十分に活用できていません。そのため既存のみどりを区民がもっと積極的に利用できるような環境整備が必要です。
  - ・また公園内の遊歩道なども、車いすなどが通行しにくいといった状況があり、バリアフリーの観点からも整備が求められています。

## (2) 「水辺、河川」等に係る課題

- ・都市型水害の発生の可能性が高まっており、適切な河川管理・治水対策が必要です。特に地域の土壌の保水力や浸透力の向上によって、水の流れを適切にコントロールすることが必要となっています。
- ・こうした水の自然な循環を守ることで、地下水や湧水の保全を図ることも求められています。
- ・区内の河川や湧水といった豊かな水資源を身近に感じたり、子どもたちが自由に遊んだりすることができる環境の整備が求められています。

### ■ 「水辺、河川」等に係る課題

- \* **都市型水害の発生を抑制するための、適切な河川管理・治水が求められています。**
  - ・雨水と汚水とが一体的に処理されているため、雨水の適切な処理が必要です。
  - ・地域の保水力が低下していることから、水の流出が急になっており、都市型水害が発生する可能性が高まっています。このため、地域の土壌の保水力の改善や透水性の確保などの取組みが必要となっています。
  - ・地下水や湧水が将来的にかれるおそれがあり、水の自然な循環を守ることが求められています。
- \* **豊かな水資源を十分に活用できていません**
  - ・区内には三宝寺池や一級河川である石神井川・白子川などがあります。それらを身近に感じることができる環境整備が求められています。
  - ・地域内の川や池で子どもたちが遊ぶことができるような環境整備が求められています。
- \* **区民の水やみどりに対する意識の低下**
  - ・環境保全や水質保全に対する環境教育が求められています。

### (3) 「ごみ・リサイクル」等に係る課題

- ・ごみの出し方やポイ捨て防止など区民のマナーの向上が求められています。
- ・人口増加に対応しつつごみの減量化を進めるため、リサイクルのより一層の推進と、そのための適切なリサイクル施設の整備、区民意識の向上に向けた普及啓発が必要となっています。
- ・電力依存の生活が続く中、今後の地球環境問題に対応するために、区民生活の各場面において省エネルギーに向けた取組みを進めることが求められています。

#### ■ 「ごみ・リサイクル」に係る課題

- \* ごみの出し方やポイ捨て防止など区民のマナーの向上が必要です。
  - ・ごみの出し方に関するマナーの改善が必要です。
  - ・駅前や公共の場所でのポイ捨てが非常に多く、マナーの向上が必要です。
- \* リサイクルのより一層の推進が求められています。
  - ・今後の人口増加に対応するため、適切なリサイクル施設の整備・誘致が求められています。
  - ・ごみの減量化を進めるために、リサイクルの推進が求められます。
  - ・リサイクル率を高める上での資源分別が十分に理解されておらず、今後の普及啓発が必要となっています。
- \* 省エネルギーに向けた取組みが求められています。

#### (4) 「自転車・交通」に係る課題

- ・駅前や商店街における放置自転車対策と駐輪場の整備が求められています。
- ・鉄道の高架化による交通渋滞の解消や、道路幅員の拡幅による歩道設置などといった道路基盤の整備が求められています。
- ・地域内の移動が不便であり、今後バス路線などの公共交通の拡充が求められています。

##### ■ 「自転車・交通」に係る課題

- \* 駐輪場の整備と放置自転車の排除が求められています。
  - ・放置自転車により道路状況が悪化しています。特に駅前や商店街に放置自転車が多く、対策が求められています。
  - ・あわせて便利な駐輪場が全般に不足しており、駅直近の駐輪場建設やマナーの啓発などが必要となります。
- \* 交通渋滞の解消等に向けた道路の整備が必要です。
  - ・鉄道との立体交差化による道路渋滞の解消が必要となっています。
  - ・電柱で道が狭くなっていたり、道路幅員の狭い道路が区内には多数見られます。こうした道路が交通渋滞を引き起こしているほか、緊急車両の通行に支障を来している危険性があることから、道路空間の適切な整備が求められています。
- \* 公共交通の整備・拡充が求められています。
  - ・地域内の移動が不便であり、特にバス路線が不足していることから、路線拡充が必要となっています。

## 2. 練馬区がめざすべき将来像

### (1)「みどりを増やし育み楽しむ“みどり文化”の薫るふるさと都市」をめざします

#### ①めざすべき将来像1

- ・身近なみどりを維持していくとともに、多様なみどりを増やし、育むことで区内のみどりを増やし、そのみどりを楽しむことが出来る「みどりを増やし育み楽しむ“みどり文化”の薫るふるさと都市」を目指します。

#### ②将来像の具体的内容

- ・堆肥の活用や自然の循環によりうまれた豊かな練馬区の土と水に育まれた、憩いの森など地域のみどりや庭・屋内など生活の場のみどりなど、様々なみどりを楽しむことができるまちを目指します。
- ・区内の公有地・民有地あわせ、多様な緑地が保全されるまちを目指します。
- ・地産地消がすすみ、環境保全に役立つ、農地のみどりがたもたれているまちを目指します。
- ・暮らしの中で区民がみどりを大切にするとともに、身近なみどりとしての農地が保全されているまちを目指します。

#### ＜めざすべき将来像1 「みどりを増やし育み楽しむ“みどり文化”の薫るふるさと都市」＞

- \* いい土といい水を活かしてみどりを楽しむまち
  - ・自然の循環にのっとった、豊かな土壌環境が保たれている
  - ・豊かな水と土に育まれたみどりを、区民が楽しむことができる
- \* 多様なみどりを育むまち
  - ・公園、憩いの森、農地など、公有地・民有地あわせ多様な緑地が保たれている
  - ・大きな樹木、多様な草木、大きなみどりと小さなみどりがたくさんある
- \* 地産地消としての都市農業がたもたれている
  - ・環境保全の要としての農地のみどりがたもたれている
- \* 身近なみどりを大切にすまち
  - ・暮らしの中でのみどりが大切にされている
  - ・身近なみどりとしての農地が保全されている

## (2) 「水が身近なまち」をめざします

### ①めざすべき将来像2

- ・水がかつてのように自然の速さでゆっくりと循環するとともに、川、池などの水辺を身近に感じて楽しむことができる、「水が身近なまち」を目指します。

### ②将来像の具体的内容

- ・幅広いエリアで緑化を進めたり、透水性舗装を進めるなど、地域の土壌の保水力や浸透力を高める工夫をすすめ、水が自然の速さで流れ循環する街を目指します。
- ・川や池を身近に感じ、子どもが自由に遊んでいる「水辺を歩いて楽しめるまち」を目指します。

#### <めざすべき将来像2 「水が身近なまち」>

##### \* 水が自然に流れる

- ・水が自然にゆっくりと循環している
- ・地域の保水力や浸透力を高める工夫がなされている（土壌エリアの確保や透水対策）

##### \* 水辺を歩いて楽しめるまち

- ・川や池が身近になっている
- ・川辺で子どもたちが自由に遊べるようになっている

(3)「ものやエネルギーを大切にすまち」をめざします

①めざすべき将来像3

- ・ 3R (Reduce(リデュース：減らす)、Reuse(リユース：再使用)、Recycle(リサイクル：再資源化)) を徹底し、ごみを出さないしくみを進めるとともに、資源やエネルギーを無駄に使わない「ものやエネルギーを大切にすまち」をめざします。

②将来像の具体的内容

- ・ ものを大切に使う意識を高めることで、リサイクル等のしくみが活用され、家庭ごみが減量化されるとともに、ごみ捨てなどのマナーも守り、ごみの姿がなくなるまちを目指します。
- ・ 自然エネルギーの導入や、公共交通の積極的な利用など、省エネルギーの生活が普及しているエネルギーを大切に使うまちを目指します。

<めざすべき将来像3 「ごみの姿がない環境にやさしいまち」>

\* ごみの姿がなくなるまち

- ・ 区内にリサイクル施設が整備され、リサイクルの効率化により家庭ごみが減量化されている
- ・ ごみの落ちていない広場・道路など、ごみ捨てマナーが守られている
- ・ 清掃活動といった地域の活動が盛んに行われている

\* エネルギーを上手に使うまち

- ・ 自然エネルギーが様々な分野で導入されている
- ・ ライフスタイルの変化を通して、省エネルギーの生活が普及している

(4)「誰もが移動しやすいまち」をめざします

①めざすべき将来像4

- ・道路基盤が適切に整備されるとともに、公共交通の充実や自転車の利用環境の改善を通じて、高齢者や自動車を利用できない区民も自由に行き来することができる「誰もが移動しやすいまち」を目指します。

②将来像の具体的内容

- ・バス路線の充実やコミュニティバスの導入等、公共交通が整備されたまちを目指します。
- ・駐輪場や自転車専用道路等の整備により、放置自転車がなくなり自転車を快適に利用できるまちを目指します。
- ・電線の地中化や細街路の改善など、道路基盤が適切に整備されたまちを目指します。

<めざすべき将来像4 「誰もが移動しやすいまち」>

\* 公共交通が整備されたまち

- ・公共交通やバス路線が充実している
- ・区内を自由に行き来できるようなコミュニティバスがある

\* 自転車が快適に利用できるまち

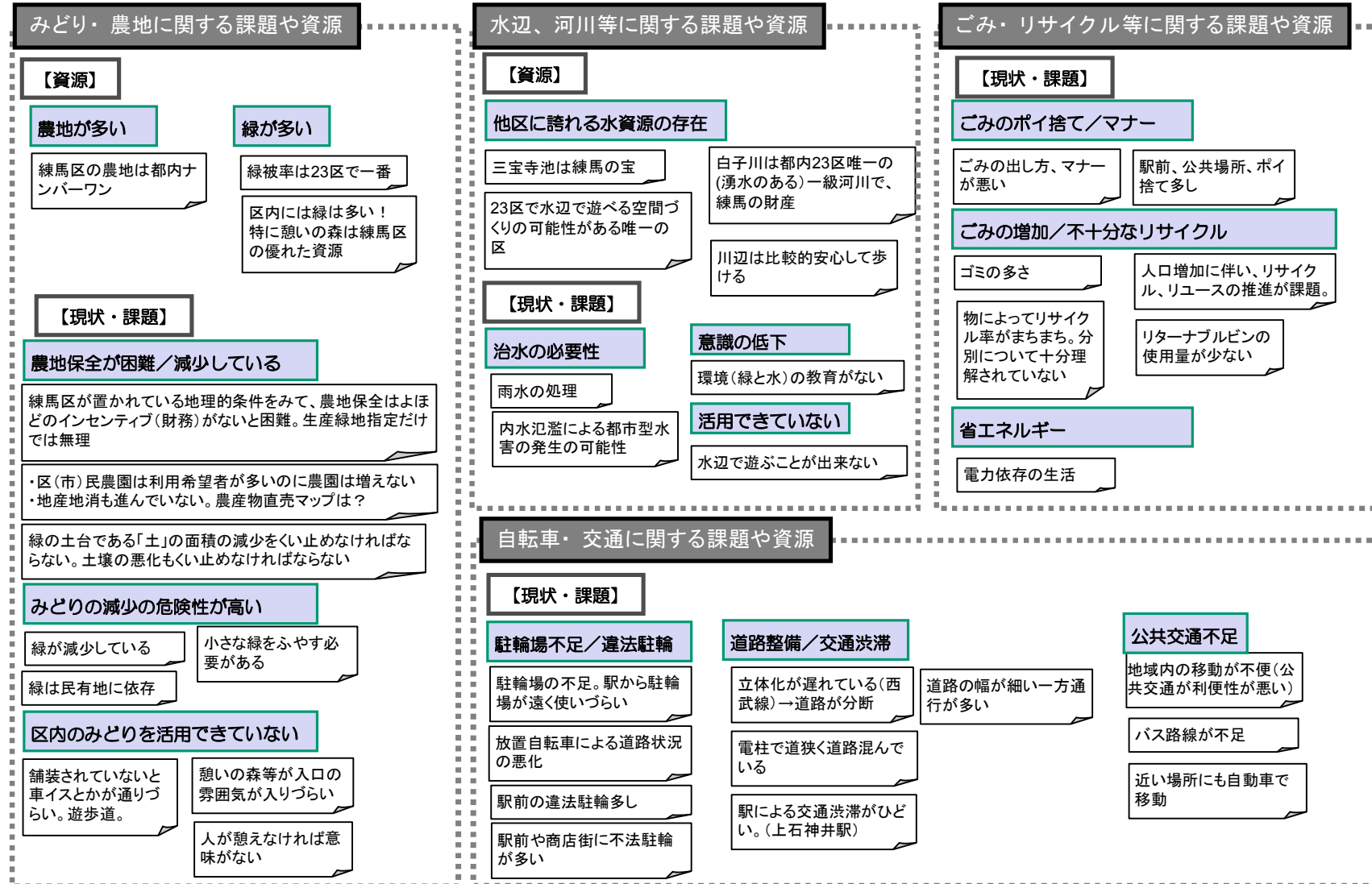
- ・便利な駐輪場が整備され放置自転車がなくなっている
- ・自転車専用道路の整備などにより、自転車が安心して快適に利用できる

\* 道路空間が適切に整備されたまち

- ・電線の地中化が進み道路空間が整備されている
- ・災害時に備えて細街路が整備されている
- ・交通渋滞が少なくスムーズに流れている

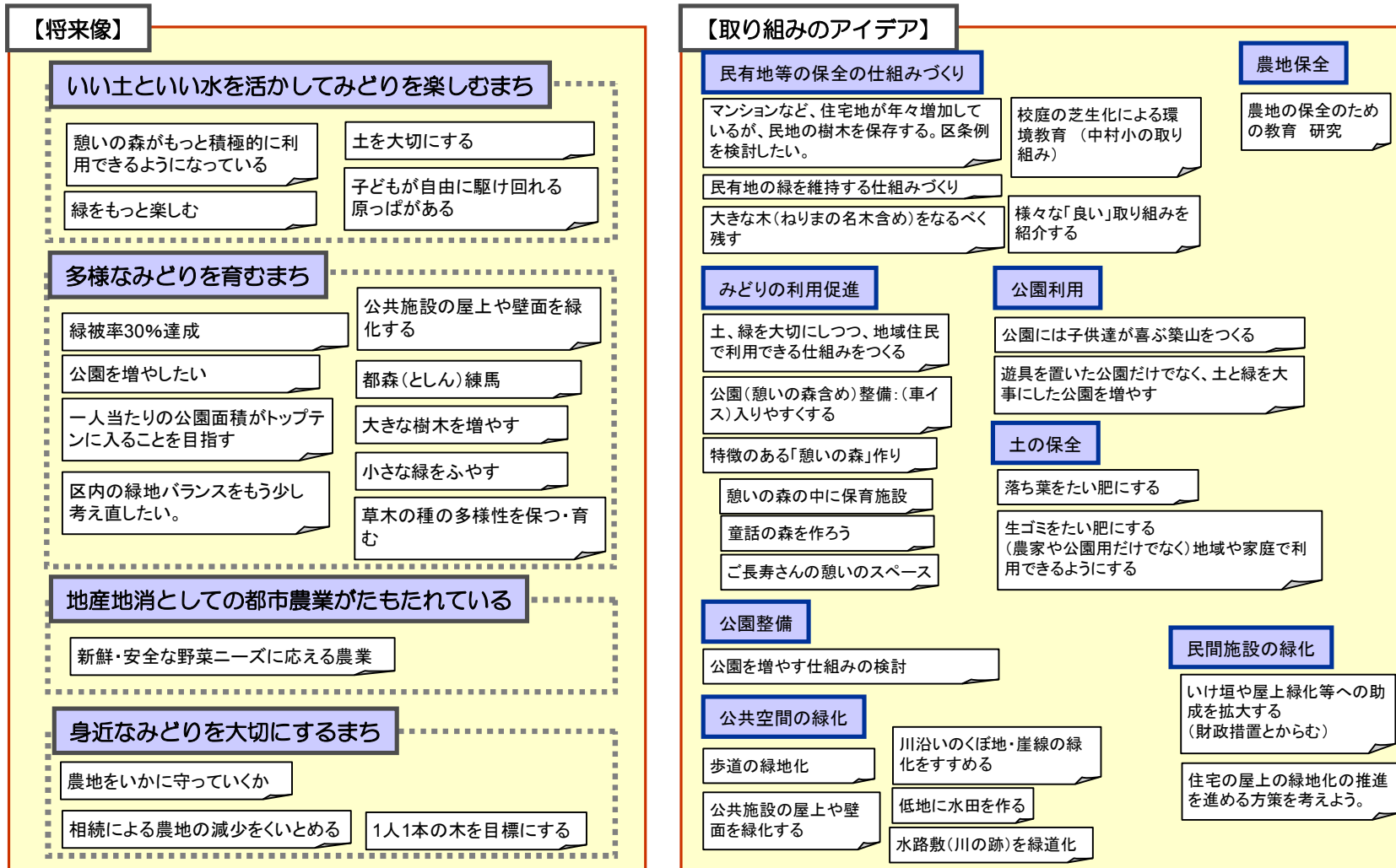


【参考資料1：課題検討の整理結果（過去の検討結果を論点ごとに再整理）】



【参考資料2：将来像および取り組みのアイデアの整理結果（過去の検討結果を将来像毎に再整理）】

めざすべき将来像1: 「緑を増やし育み楽しむ”みどり文化”の薫るふさと都市」



めざすべき将来像2: 「水が身近なまち」

【将来像】

水が自然に流れるまち

水の循環ができるようなシステムづくり(政策によるインセンティブも強めて)を目指す

水循環プラン  
ゆっくり水のめぐる場所

みどりと水のネットワーク

水の循環ができている  
雨水→大地→川

水辺を歩いて楽しめるまち

川、池が身近になっている

川辺で子どもたちが自由に遊べるように

生態系にもとづいた川の整備

区内の湧水、湧水を水源とする河川が、子どもが楽しく遊べる空間になっている

【取り組みのアイデア】

地下水脈の涵養・保全

湧水、地下水、保全条例を作る

地下水脈の調査を

地域の保水力の向上

土壌の保水力をUPして水の循環の速度を自然に近づける

道路の改善(透水性舗装)

川で楽しむ範囲を超えた広いエリアの緑化→水の循環速度に影響

下水を川には入れない(雨と下水は分離)

雨水ますの設置

楽しめる水辺空間の構築

川に滝や噴水を設置しよう

子どもが水辺で遊べるような意識づくり

川(石神井、白子)を昔の姿に戻そう

千川上水をオープンに

めざすべき将来像3: 「ものやエネルギーを大切にするまち」

【将来像】

ごみの姿がなくなるまち

ごみの落ちていない広場・道路

ゴミ拾いなどの清掃活動が盛ん

区内にいくつものリサイクル施設があり  
自区内で処理が進む

リサイクル率全て100%近くにする

ゴミの減量:リサイクルの効率化

エネルギーを上手に使うまち

自然エネルギーの導入

住環境・交通といったハード面  
での省エネの導入

家庭生活・ライフスタイルの中  
での省エネの導入

【取り組みのアイデア】

清掃・美観活動

ポイ捨て禁止条例:厳しく過  
料などで改変

ごみの減量化

一部の人を除いて分別の理  
解が出来る。ごみゼロ課設置

ゴミネットの整備、住民の意  
識、行政の指導

リサイクルの推進

現状のリサイクル関連施設の  
利用拡大及び新規施設の建築  
場所の誘致について区が主導  
して進める(民間施設の利用)

ビール瓶、牛乳瓶使用を  
見直す

めざすべき将来像4: 「誰もが移動しやすいまち」

【将来像】

公共交通が整備されたまち

公共交通のバス路線が充実

コミュニティバスが充実  
(区内に行き渡るように整備)

自転車が快適に利用できるまち

自転車が利用しやすい

駅前に違法駐輪がなくなる

道路空間が適切に整備されたまち

交通がスムーズになっている

電柱の地下化で道路が整理される

【取り組みのアイデア】

駐輪場の整備

無料駐輪場の充実

商店の前に一定の駐輪スペース確保を義務づける

駐輪場整備の助成金の規制緩和

道路空間の整備

電柱の地下化で道路が整理される

医療介護等をみすえた道路作り

災害時に備えて細街路を整備にむけた助成金充実

自転車利用促進

自転車道路整備やペロタクシーの使用

公共交通利用促進

ラウンドコミュニティバスで駐輪場を周辺に設置

パーク&ライド駅の周辺に散在化

踏切の整備(立体など)